

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「自らのロータリーストーリーを
作りましょう」

高田ロータリー
今年のスローガン

「善意を深め、
奉仕の力を昂めよう」



インスピレーションになるろ

2018～2019年度

国際ロータリー会長 **バリー・ラシン**
2560地区ガバナー **川瀬 康裕**
高田ロータリー会長 **牧野 章一**
幹事 **佐藤 教彦**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
堀井 靖功 岩崎 幹男 宮川 大樹

第19回例会 ■ 11月16日(金)

No.19

会長挨拶 ● 牧野 章一



皆さまこんにちは、先週の日曜日は燕三条で地区大会が開催されました。多くのメンバーが参加されました。ローターアクトの永井さん、長期交換学生のジョン君を含め三十有余の参加者となりました。

川瀬ガバナーの体調が思わしくなく、新保副ガバナーが表に立つ大会でしたが、それだけにホストクラブの三条ロータリークラブ齊藤実行委員長・松永クラブ会長を初めとする皆さんの一生懸命さ、気遣いが伝わってくる大会であったと思います。

当クラブの出番もありました。

まず、大谷ガバナーエレクトのご挨拶、国際ロータリー第2560地区 全会員へ向けた、ガバナー就任の決意表明です。これを受ける形で、次期開催地代表挨拶です。第7分区会長・幹事の皆さまとともに上越で「お待ちしております。」のアピール、ここで大音声のご協力をいただきました。

のちほど映像が出るようです。私たちの団結力が確認できると思います。

すでに、大谷年度は始まっていると自覚した地区大会でもありました。

この度の地区大会参加のために前日から汗を流してくださり、演壇で声を張りあげてくださり、車中の盛り上げに気を配ってくださり等々…、改めて皆さまに感謝申し上げます。有難うございました。

出席報告

出席率 100%

委員会報告

出席ニコニコBOX委員会

会長・幹事——地区大会に無事参加出来ました。参加いただいた皆様ありがとうございました。

堀井靖功君——結婚50周年を迎えました。感謝とこれからの元気を願って「ニコニコ」します。

ロータリー財団委員会——寄付のお願い

大谷年度地区大会実行委員会——地区大会参加報告及び大谷年度地区大会についてのお願い

広報・会報・雑誌委員会——週報寄稿（私もひとこと）のお願い

会員インフォメーション

堀井靖功君——12/1 前島密一代記展・講演会のご案内

幹事報告

配布物：週報No.18・2018-19年度現況報告書・大谷年度地区大会組織図・12/1 前島密一代記展・講演会パンフ

報告：赤い羽根共同募金のお願い・11月23日の例会は休会です

12月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
21	12月7日	年次総会・クラブ協議会	デュオ・セレッソ
22	12月14日	卓話 高井 進様 演題 未定	デュオ・セレッソ
23	12月21日	クリスマス家族例会	やすね
-	12月28日	休会日（特定休会）	-

クラブ協議会 国際ロータリー第2560地区 2018-2019年度 地区大会報告



会長 牧野 章一

11月10日・11日（土・日）両日に渡って地区大会が開催されました。ホストクラブは三条ロータリークラブ、参加者は約1,000名でありました。

第一日目は 燕三条ワシントンホテルで「地区指導者育成セミナー」「国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」が行われました。

ガバナー挨拶で、新保清久副ガバナーは、“地区大会は、ロータリーを学ぶ貴重な機会であるだけでなく地区内全クラブが一堂に集まる年に一度のお祭りです”と地区大会の意義に触れ、また、ロータリーの奉仕には、地域と係わった人の人生を変える力がある、と語りました。

国際ロータリー会長代理 石黒慶一 RI 理事の話は、ここ2年間の RI 会長テーマ（イアン H.S. ライズリー会長 ロータリー：変化をもたらす バリー・ラシン会長：インスピレーションになろう）に触れて「ロータリーは、今、変革の時代を迎えております」と現状の限界を示し、で どうするかについて、“確固たる将来展望の長期計画を持ち、その目標に向かって一步一步精進していくしか変化への危機管理の解決策はないと考えます”と集約しました。

日本（第1・第2・第3ゾーン）、そして第2560地区の会員数の減少が続いています。120万人の会員を要する世界有数の奉仕団体となったロータリーは停滞の時期を迎えているといわれています。この危機感が会長テーマとなり、時代に追いつき、時代とともに歩む広報力・公共イメージの向上と次世代への準備をする戦略計画作成の推進に至ったことを学びました。

これらの方針から、地区委員長報告で会員増強委員会から新潟ロータリークラブに女性が入会したことが報告され、第二日目の RI 会長賞にクラブ戦略計画を作成した高田東ロータリークラブが選ばれたと理解いたしました次第です。

ロータリー米山記念奨学会講演、駐新潟大韓民国総領事館総領事 鄭美愛氏による演題「未来志向の韓日関係」は、日韓関係が悪化している現在どのようなお話しになるか少し緊張してお話を伺いました。

日韓の交流人口は1,000万人を越えるといわれています。

国家間の外交は国益に重点が置かれます。一方、個人ベースの交流はあくまでも個人のもので、その人その人の善意の積み重ねが心の平和を培う、善意は期せずして通じ合うという国際奉仕の原点を総領事のお話から思い出しました。

第二日目は 燕三条地場産業振興センターで「本会議」「ロータリー親睦交流会」が行われました。

ここでクラブ会長会の報告をいたします。

議案は、「ガバナー選出の分区輪番制（2016年11月5日会長会決議）の運用については、2020年～2021年度を起点として、第1分区から第7

分区へ向けて順次輪番を組むこととする。但し、第2分区に関してはこの定めたサイクル内において2回の頻度で輩出することとし、その後も同様とする。」であります。ここに付帯決議「自主的にガバナー輩出を希望するクラブは輪番制に優先する」、決議方法「出席者の投票により過半数以上で可否を決定する」、第1号議案のイメージ「2020年：輩出分区1、2と続く」、提案理由、今後の議論の方向性について、が続いています。起案者名は、RI 第2560地区新保清久副ガバナーと地区運営改善検討委員会鈴木重壺委員長です。投票の結果は、賛成40票 反対12票 白票3票で、提案された議案は賛成多数で承認されました。

次に記念講演のお話を紹介します。

ミズノ株式会社 相談役会長水野正人氏による演題「ロータリーと東京2020大会レガシー」は、地区大会にふさわしいお話でした。

バリー・ラシン会長テーマ「インスピレーションになろう」の宣言文の中に「ロータリーは単なる「モデル」でなくインスピレーションです」とあります。氏は、ラシン会長の伝えたいことは何か、今、必要なことは「モデル」つまり模範や手本・標準でなく自らの行動で感化し相手の心に火を燈すだといっているのです、と我われに発信しました。なるほど！です。私は「モデル」に何ら注目していませんでした。RIの今までの成功例「モデル」は、時代に通用しなくなってきている。新しい精神と行動が必要…。現状をここまで厳しく捉えているのかと考えさせられました。

ロータリーは信頼の置ける人の集まりであり、奉仕の団体です。クラブ奉仕は信頼を醸成するためにあるのだと再認識し、ロータリーの職業奉仕は自らの生業（なりわい）を天職として勤める。天職とは使命感を持って従事する仕事、ボケイション「神に仕える仕事」をいいます。“世界でよいことをしよう”がロータリー財団の始まり等、非常に刺激に満ちたお話でありました。

東京2020大会レガシーについても、日本での開催意義など、学びの多いお話をいただきましたが時間の関係から割愛いたします。

水野氏が最後に私たちに送ってくださったエールを紹介します。

「職業柄多くの一流アスリートと接してきた。そこでどんな人、どんな選手が伸びたか…。それはノビノビした選手です。形にとらわれずノビノビした人が勝ちます。」

瑞々（みずみず）しくノビノビした心、ノビノビしたクラブ風土を築く、そんな高田ロータリークラブでありたいと強く思いながら次期開催地代表挨拶の演壇に向いました。

【協議会では、引き続き宮川大樹君・加藤公一君から地区大会報告がなされましたが、紙面の関係で次回以降に掲載いたします。】